

JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）



表紙：パキスタンの歴史博物館横にあるモニュメント

今月の Topics

- ▶ JDS 留学生が HIT ひろしま観光大使に就任しました
- ▶ JDS 留学生が、第2回ユース国際研修へ参加しました
- ▶ JDS 帰国留学生が、カンボジア公務員省長官に就任！
- ▶ Laos Coffee のご紹介

JDS 留学生が HIT ひろしま観光大使に就任しました

HIT のイベントでスリランカを紹介



JDS スリランカの博士留学生 ARANDARA Mayura 氏は、2021 年、Hiroshima Tourism Association (HIT 広島県観光連盟) ひろしま観光大使に就任しました。観光大使としての活動は、「広島の魅力を発見し広島を楽しむ」ことをメインに、広島に関するイベントやモニターツアーに参加し、広島魅力を伝えることです。ARANDARA 氏に観光大使となったきっかけや、活動内容についてインタビューしました。

観光大使になることを希望したきっかけ

日本は、沢山の観光名所を持つ素晴らしい国です。広島県には素晴らしい歴史的、文化的な観光スポットが沢山あります。宮島の厳島神社や広島平和記念公園等は世界的にも有名です。SNS で友人たちの投稿を見て、将来機会があれば行ってみたいと思うようになりました。JDS 留学生として広島大学人間社会科学研究科に入学が決まると、その思いは更になりました。観光大使の広告を見つけて、観光大使として活動したいと思うようになりました。

観光大使としての活動

観光大使として、日々、広島県魅力を発信しています。自身のネットワークを通じて、広島のお勧めの観光スポット等をスリランカの友人だけでなく国内外に発信するようにしています。例えば、観光地で撮った写真を SNS で共有し、広島へ旅することを推薦しています。



家族で広島観光

観光大使になってよかったポイント

自分の住む街である広島の観光名所を家族と共に発見する機会を得たことは、本当に素晴らしいことです。広島平和記念公園、広島城、おりづるタワー、宮島の厳島神社、大久野島等の沢山の名所を訪問することができました。イベントで会った他の観光大使たちとの交流も魅力の一つです。様々な HIT のイベントに参加して、他の大使たちとのネットワークを広げることができました。

JDS 帰国留学生がカンボジア公務員省長官に就任！



2022年10月、JDS 帰国留学生の Huot Synead 氏(フウ スィニエ / 横浜国立大学国際社会科学 研究科 / 2008年修了)が、カンボジア公務員省 長官に就任しました。同氏はJDS留学で修士号 を取得して帰国後、2019年に公務員省副長官へ の昇進を経て、今回、長官に就任しました。

今後、日本で学んだ知識・経験を活かして活躍す ると同時に、日本とカンボジアの二国間関係の 強化に貢献していくことが期待されています。

JDS 留学生が第2回ユース国際研修へ参加しました



児童虐待への対応策を検討するグループディスカッション



発表会の様子



オンラインで発表会に参加する学生

UNAFEI とは

国連アジア極東犯罪防止研修所 (UNAFEI/ ユナフェイ) は、アジア太平洋地域をはじめとする各国の刑事司法制度 の健全な発展と相互協力を目的に 1962年に設立されまし た。犯罪防止を目的に刑事司法実務家を対象とした研修・ セミナーの実施並びに犯罪防止及び犯罪者処遇に関する 調査研究を行っています。

参考: UNAFEI HP

https://www.unic.or.jp/info/un_agencies_japan/unafei/

2022年8月、国連アジア極東犯罪防止研修所 (UNAFEI: United Nations Asia and Far East Institute for the Prevention of Crime and the Treatment of Offenders) の主催で、第2回ユース国際研修が5日間にわたり開催され ました。当研修には JDS 留学生 7 名を含む留学生 10 名、日本人学生 14 名が参加しました。UNAFEI 主催の研修へ の JDS 留学生の参加は今年で 2 回目となります。「児童虐待のない社会に向けて～若者の討議による対応策の模 索～」を研修のテーマとして、児童虐待の現状やその被害がもたらす社会への影響、そしてこれらの被害を防ぐた めに必要な取り組みについて、参加者たちは学びました。また、講義で得た知識を踏まえ、児童虐待への予防や対応策 となるプログラムについて参加者同士でグループディスカッションを行い、最終日にはその成果を発表しました。

参加した JDS 留学生からは、「現代の児童虐待の実態の深刻さを学び、対処法を考える大変良い機会になった。政 府としても児童虐待の防止に優先的に取り組んでいかなければならない理由がよく理解できた」と、研修の内容を 高く評価するコメントが寄せられました。昨年度はオンラインでの実施でしたが、今年度は、対面とオンラインのいづ れかの方法を希望して参加が可能となり、参加者同士のネットワークがさらに広がりました。



世界の朝ごはん
ラオス



温暖でミネラルを多く含む火山灰の土壤があるラオス南部は、コーヒー豆の生産に適しており、コーヒー豆は重要な輸出品目となっています。ラオスコーヒーは、苦みは控えめ、ほのかな酸味と甘みのあるスッキリ軽い飲み口が特徴です。

ラオスでは今、若者たちの間でコーヒー熱が高まっており、その魅力を伝えるべく、各地で試飲やバリスタのコーヒーイベントが多数開催されています。以前はコンデンスミルクたっぷりの甘いコーヒーが定番でしたが、若い世代には、アイスラテやドリップコーヒーが人気とか。そんなラオスの首都ビエンチャンは、知る人ぞ知る「カフェ天国!」。朝早くから営業しているカフェも多く、出勤前のテイクアウトにも利用されています。南国らしく、バナナやライチ入りのコーヒーもあるそうです。仕事の合間にラオスコーヒー片手に薫り高き時間を満喫してみたいかがででしょうか。



今にもいい香りが漂ってきそう

Oransion Cold Brew

オレンジ、パッション
フルーツ入りの
コーヒー



コーヒーイベントの様子

JDS 3つの特徴

- 1 **行政官限定事業**
※一部例外がございます
- 2 **5,410名 21カ国の実績**
※事業終了国の人数も含む ※2021年度までの人数
- 3 **大臣・局長級を輩出**

対象国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得します。

出身省庁...財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等

<事業実施対象国> ※受入人数順
ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス、バングラデシュ、フィリピン、ウズベキスタン、モンゴル、キルギス、パキスタン、スリランカ、ネパール、ガーナ、ブータン、東ティモール、タジキスタン、ケニア、エルサルバドル、モルディブ

※中国は2012年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本で専門知識を身に付け帰国した留学生は、日本との政策対話に携わり二国間強化に寄与する等、様々な場面で活躍しています。

人材育成奨学計画（JDS）は無償資金協力によるJICA留学生受入支援事業です。

編集後記

JDS Network News (JNN) をお読みいただき、ありがとうございます。

ラオスには、バナナやライチ入りのコーヒーがあると知り驚きました。フルーティーで美味しそうです。

先日、ベトナムへ出張に行った際には、コンデンスミルク入りコーヒーや、卵入りのエッグコーヒーなど、かなり甘いコーヒーの数々を楽しみました。

JDS 留学生の皆さんに、各国ご当地のコーヒーを尋ねてみたいくなりました。

JDS 事業に関するご質問がございましたら、お気軽にメールで弊センターまでお問合せください。また、本誌へのご意見・ご感想もお待ちしております。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）
留学生事業第一部留学生事業課広報担当
E-MAIL: jds.PR@jice.org